

# ベントグリーンを夏越しさせる9つのSTEP

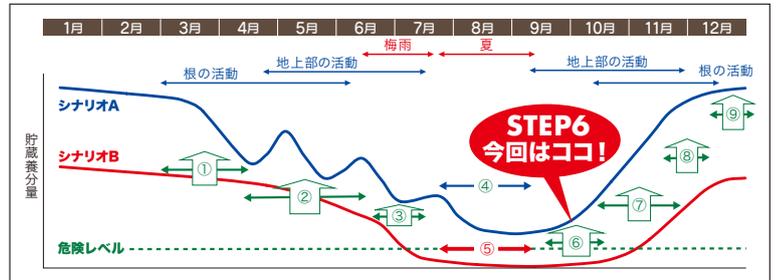


## STEP6【初秋】 「すばやい回復を促す」：現状の見極めと対処

夏の終わりから本格的な秋の始まりまでの、地上部は回復開始したが、根はまだ活性が低いという過渡期の対応です。

### 気象・芝・土壌の状態

- ・温度が下がり始め、光合成と葉の伸びは次第に回復
- ・しかしまだ根の適温より高く、根の活性は低い
- ・夏の間に土壌表層の透水性・通気性が下がっている
- ・まだ高温多湿で病害・害虫・藻などが発生しやすい



### 管理目標＝底を打ったベントを、速やかに本格回復期へ移行させる

気温が下がり始めると刈草も増え、夏越しも峠を越したように見え、秋に向け更新作業等を始めたい時期ですが、まだ無理は大敵！次のような課題があります。

- ・根の活性がまだ低く、水や養分（特にリン・カリウム）の吸収が不足、光合成も低い。
- ・光合成が本調子でなく、呼吸量もまだ多いので、余剰炭水化物は少ない。
- ・余剰炭水化物の大半を葉と根の回復に費やすので、貯蔵養分はまだ少ない。（回復初期には貯蔵養分全部をつぎ込んで、一時的にフルクタンがゼロも）
- ・炭水化物が低いので、新たな酵素・葉緑素・新根・分けつ形成は低調。（そのため窒素施肥をしても反応は鈍く、窒素過剰にしてしまいがち）
- ・夏の下葉・根の枯死や藻で、土壌表層の透水性・通気性が下がっている。更新作業をしたくても、根が弱く、早すぎる作業は芝を傷める危険が大。（根を傷めてしまうと、なかなか回復できない）



▲夏のストレスにより甚大な被害を受けたグリーン



◀時期の早すぎる更新作業でダメージを受けたグリーン

### 管理作業のポイント

本格的な秋の生長（Step 7）が始まるまでは、フルクタンで光合成と炭水化物収支を確認し、葉身中のカリウムで根の状態を確認しながら、根に負担をかけずに光合成を回復させることが重要になります。

#### 【ポイント1】 根の活性に合わせた、液肥によるスプーンフィーディング

- ・吸収の良い尿素やリン酸、光合成に必要なマグネシウム、夏に下がったカリウムを液肥で補給、光合成を確保（炭水化物に余裕が無い間は窒素反応が鈍いので、うっかり窒素をやり過ぎないように、葉身の窒素も確認）

#### 【ポイント2】 サプリメントで、根と葉の活性を高める

- ・サイトカイニン、微量元素、抗酸化物質などで光合成活性を上げる
- ・フルクタンが低い場合には、アミノ酸・糖・有機酸の点滴補給で、回復を早める

#### 【ポイント3】 根と貯蔵養分の状態に合わせた更新作業で、根へ酸素供給

- ・フルクタンが低く根が弱い場合は、根に負担の低いベンディング・スパイクング
- ・薄めの浸透剤の定期使用で、更新作業の不足をカバー
- ・根の張りや貯蔵養分の増大を確認したら、次第に強い作業へ

#### 【ポイント4】 耐暑性品種の追い播きで、特に落ち込んだ部分の回復促進・カタビラ侵入抑制

- ・夏に特に密度が下がった場合には、スパイクングと同時に耐暑性新品種をインターシードし、その秋の被覆を促進し、翌年以降の夏越しを改善させる

#### 【葉身分析目標値】

- ・Pはアップ（0.6%以上）、他は夏と同レベル（N：4.0～5.0%・K=2.0%以上・Mg=0.2%以上）を確保して、光合成の促進を図り、できるだけ早いフルクタンの回復（10mg以上）を目指す。

※葉身分析と貯蔵養分フルクタンについてはSTEP 0【総説】をご参照

## この時期のおすすめ資材・機材

### 【TG クラシック、フェロメック、ウーヅの雫】

吸収の良い尿素を含む液肥やアミノ酸含有液肥で、弱ったベントに窒素をスプーンフィーディング

### 【シェイプアップ】

重炭酸カリウムとマグネシウムが光合成と炭水化物代謝をアップ、貯蔵養分の回復を促進

### 【TG フォスファイト】

亜リン酸とカリウムでストレス耐性を高め、葉の光合成や炭水化物代謝を保つ

### 【Foltec The ZEN】

サイトカイニン・微量元素などのサプリメント類の施用で、光合成の回復を促進

### 【スパイカー/シーダー、マレード V-スパイカー、コアマスター+スパイクタイン】

弱った根に合わせたスパイクング・ベンディングで、土壌表層への酸素供給

### 【DC-1・L-93XD】

ベンディングと同時に耐暑性新品種のインターシードで、落ち込んだ部分の被覆を促し、翌年の夏越しを改善

## シェイプアップで、光合成と炭水化物代謝のアップ

重炭酸カリウム・マグネシウムが光合成をアップし、炭水化物代謝もアップ！

クロロフィルの中心元素マグネシウムと、炭水化物代謝に欠かせないカリウム、光合成を促進する重炭酸塩のコンビネーションが、弱ったベントグラスの活力をアップ。

秋口の回復を加速し、耐暑性、耐寒性、耐病性を高めます。



## アミノ酸含有液肥 ウーヅの雫

成分：5-0-3 フルボ酸18%

- サトウキビエキスにアミノ酸生産菌を添加・発酵させた肥料。
- アミノ酸とともに、糖や有機酸、マグネシウム・鉄・マンガンなどのミネラル・微量元素、フルボ酸を含みます。
- ストレス下の芝草に優しく回復を促します。



## インターシードに適した耐暑性品種

### 【DC-1】

- 日米共同開発品種で日本のコース管理に最適化
- 耐暑性・耐病性（細菌病・ピシウム病・ダラスポット病・ブラウンパッチ）向上と芝生品質のグレードアップに

### 【L-93XD】

- L-93の後継改良品種
- 耐病性（ダラスポット病・炭疽病）や耐暑性向上に
- 冬季の品質にも優れ、芝生緑度の季節変動が少ない安定した芝生品質を実現



## あけた穴だけに確実に種を植えこむインターシードの決定版 マレード GT410 V-インターシーダー

- 3連モアアタッチメント式の播種+更新作業機
- 種子を確実に土壌中に埋め込む設計により、安心・確実の定着率を実現
- 作業跡が目立たない設計
- スパイクング単独作業も可能



## ▶ STEP7へ進む

※葉身分析目標値：過去の分析結果から弊社が独自に設定した、時期毎の暫定目標値です。随時改訂しています。

東洋グリーンはベントグリーンの夏越しを応援します。



**東洋グリーン株式会社**

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-33-8  
TEL.03-3249-7731(代表) FAX.03-3249-7781

東京支店 名古屋支店 大阪支店 九州支店  
土浦営業所 千葉営業所 沖縄営業所 柏技術センター

<https://www.toyo-green.com>